

かゝる現実が労働者自身の経済上に及ぼす不況打聞は決して階級  
的対立や、闘争が長く為すものにあらざる事を明日にして居る。

企業家の諸君に於ても、自己の専断の不行際と、認識不足は充分に清  
算し、殊に労働者を酷使する事に依つて、経済樹立の方針たるかたきは  
充分に改め、産業人たるの責任感の上に、理解と協力を深め、労資は  
日本国民としての尊生の道に立つべしとの信念を堅持して貰ひたい。

日本の眞の経済は、制度の刷新を以つて成るものではない。然ゆる人  
々か、三千年來、薫育、練磨せられたる日本人たるの精神に自覚する事  
を第一としなければならぬ。

日本の労働者は、断じて階級対立に依つて、日本の経済が、国民厚生  
のための打開成るものではない。むしろ国内に於ける階級対立は、外侮  
を受け、随つて國家衰退の一途を遡る以外の何者でも無き事を。

階級対立が如何に、國家、産業に有害たるかは、殊に勤労階級の生活  
に多大の責任を有する。企業家の諸君の期待を多としなければならぬ。

政府は、日本の経済非常時に對して、速に産業上の差別を行ひ、以つ  
て、國家、國民経済の確立を促し、國民苦心、立命の道を指示すべしと  
ある、此の自明なる原則を認識、促進する方途なく、政權を掌握する位  
れば、夫れこそ政權を私するものであつて、善々の斷乎反對せざるを得な  
る處である。

## 戦線統一の問題

大正十一年、全國總聯合の分裂以來幾度か、兩派がなされた事等は、  
機械労働組合聯合会以來戦線統一に對して、敵身的努力を惜まず此の運  
動に盡力して來た。

大正七年九月廿五日、日本労働組合會議は結成せられたが、翌廿六日  
には、石川島自衛組合及硝子工業會より成る、造形聯盟は、組合會議の  
非國家的、非日本的を指摘して、造形聯盟は、組合會議の